

~~は~~ ~~あ~~ ~~ら~~ ~~ず~~ ~~る~~
 籠の中
 中近づくと
 人に急ぎ欲
 りて鳴きし
 鶺鴒の子今
 とほしみけり
 鮮やれば
 兩羽あるは
 せ口あきて
 鳴く鶺鴒の
 子とい
 とに疑はれぬし
 吾がおこな
 ひきまでに
 拙くあり
 経しや深く
 むぬ人

長野 澤よし枝

檐ふかき室から見
 中る梅雨空と波う
 たしつつ雀
 むれ飛ぶ
 軟球試合今は果て
 たらむ夕空と群聲
 拍手たちま
 ち聞ゆる

しにあ
 にあはせて
 白雲の

霖雨の持ち来し
 泥を足のまいた
 七月の陽はに
 ぶ
 と
 差らせり
 ううううと
 けつにふと汗ば
 める
 林某劇の右川
 泳ぐ男子足
 だしぬもるはけり
 をり

にひさかに

結城哀草果選

コチ

三條組

1071 1176 伊